

## 【団体概要】

構成メンバー内訳:理事、学生スタッフ、プロジェクトスタッフ、インターン生

メンバーの人数：100人

設立年：2008年12月

活動場所/対象地域：横浜市

キャッチコピー：  
まちにたくさんの主人公を！

URL：http://actionport-yokohama.org/



URL：



URL：http://www.facebook.com/actionportyokohama



URL：

□団体単位 □プロジェクト単位 として申請します。

## 【横浜アクションアワード2023】



## ・企画のねらい

若者と地域のNPOや団体がパートナーシップを組んで活動している事例を多くの方に知ってもらい、広げていくためのアワード。

## ・具体的な活動内容

スキルアップ講座：自団体の見つけ直しワークショップ、情報発信講座

1次審査：プレゼン審査、2次審査に向けブラッシュアップ交流会

2次審査：プレゼン審査、ドネーション交流会、受賞団体の決定

## ・ターゲット

横浜市及び近隣の30歳以下の若者グループ、個人、審査員、若者の活動を応援したいと思っている方々

## ・成果（実施前の場合は期待できる成果）

地域：若者が地域で活動する事例を知り、連携とさらなる活動の理解を広げる

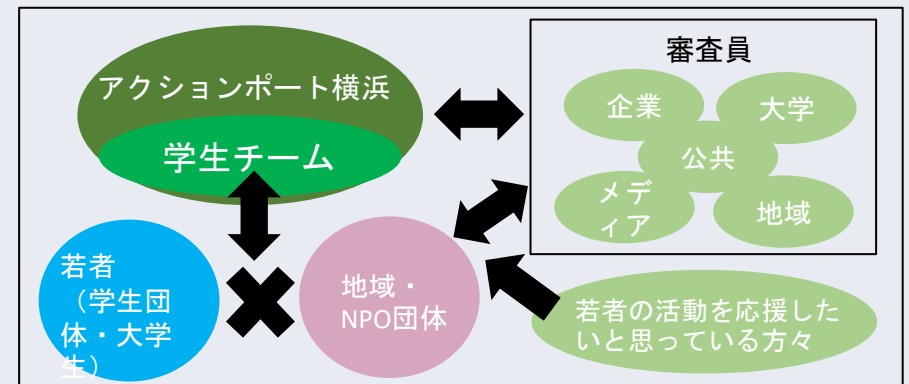
自団体：アワードでの出会いを通して、参加団体の活動を次のステージへつなぐ。

## 【活動スケジュール(実施済・今後の予定すべて含む)】

	◎活動内容
3-7月	前年度の審査員にお礼、伴走支援
8月	企画書作成、団体集め
8-10月	協賛集め、審査員集め
11月	エントリー開始
12月	スキルアップ講座
1月	一次審査
2月	二次審査

## 【運営体制や組織図】

※若者と地域コミュニティの役割分担や連携内容が分かるようにお書きください



### ①活動の背景

若者が主体となって活動している団体は個々の活動が盛んで、他の団体と関わったり、他者から意見をもらう機会があまりないと考えている。横浜アクションアワードを介して若者の活動を応援し、学生同士や地域の方とつながりが生まれる場が必要だと思い、立ち上げた。

### ③今年度力を入れていること・工夫していること

- ・スキルアップ講座を設けたこと  
：自己分析講座や情報発信力講座を設け、団体の魅力を引き出す機会にする
- ・活動資金を集め  
：個人サポーターという枠組みを作った

### ⑤現在課題に感じていること

- ・アワードの周知力の低さ
- ・資金集め
- ・情報共有

#### 考えている対策法

- ・新たな協賛の枠組みを作る
- ・報告、連絡、相談の3つを徹底的に行う

### ②自団体/プロジェクトの良さ（PRポイント）3つ以上

- 1) 大学生が中心となり企画運営を行っているため、学生の立場に立った企画・支援を行うことができる。
- 2) アワードに参加しなければ出会わなかった参加団体と参加者、審査員のつながり合う場を作ることができる。
- 3) 若者と地域をつなぐコーディネーターの連携とさらなる活動の理解を広げることができる。

### ④今後の展望(活動を通じて団体/地域がどうなっていたいか)

アワードをきっかけに活動を周知してほしい  
新たなつながりをつくり、団体同士のコミュニケーションをとる機会を設けたい。  
学生が関わることで地域がより活性化してほしい。

### ⑥その他伝えたいこと/アワードへの意気込み

参加団体同士での交流、スキルアップ講座実施など参加団体の方々の今後に関わる活動を行います。

アワードの活動自体も多くの人に知っていただけるようにがんばります。

☆活動の様子がわかる写真（2枚）と学生団体の集合写真（1枚）の元データ(jpeg等)をメールに添付してください。